

信愛園通信

平成30年(2018年)

7月1日号

第7号

広報誌

社会福祉法人 北摂信愛園

発行者/社会福祉法人 北摂信愛園

〒563-0217

大阪府豊能郡豊能町川尻72-5

TEL : 072-739-0456

FAX : 072-739-0457

[ホームページ]

<http://hokusetsu-shinaien.or.jp/>



お花見

4月15日、北摂信愛園にて毎年恒例のお花見が開催されました。

本物の桜は残念ながら満開ではありませんでしたが、会場となった信愛園内には利用者様、支援員が制作した桜の木や利用者様の写真で、皆さん笑顔満開となりました。いちごパフェ、お茶を召し上がっていただいている中「世界の国から」を唄いながら利用者様が入場し「春」の歌を披露。

最後はのせのせマーチを披露し、楽しいお花見の会となりました。

生活支援員 藤井 朋子



信愛園ほっこりニュース

春も過ぎ、梅雨の時期がやってきました。今年度から始まった北摂信愛園の畑では、エダマメ、ニンジン、夏ダイコンの新芽が土から顔を出しています。また、5月に苗を植えたミニトマト、トウガラシの花が咲き始めました。職員も利用者も、豊かな自然に囲まれた畑で、季節のうつろいを楽しんでいます。

支援員 隈本



退職者挨拶



あんどう ひでゆき
安東 秀之

平成12年12月に北摂信愛園に勤務することになり、今年4月15日をもちまして定年退職させていただくことになりました。

在職中はご利用者の皆様、保護者の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。退職直前の29年度には、持病の悪化の為4か月間の休職をさせて頂いたり、大変ご迷惑をお掛けしました。

これまでの皆様からのご厚情に感謝し、今後の信愛園のさらなる発展と皆様のご健康を祈念したいと思います。17年間、ありがとうございました。



うちはし ひろみ
内橋 博美

この度、3月31日をもって、退職することとなりました。

左耳の難聴、左股関節痛などで利用者の方をはじめ、皆様にはご迷惑お掛けしたと思いますが無事この日を迎えられるのも、ひとえに皆様のおかげと感謝しています。

利用者の方々が安心して過ごせる信愛園のさらなるご発展を祈念いたします。お世話になり、ありがとうございました。

新人紹介



あたり あきひと
當 亜貴仁

この4月より北摂信愛園で支援員として働かせていただいています、當 亜貴仁（あたり あきひと）です。

これまでは別の法人で、計8年間この分野で仕事をしましたが、また新しい場所での勤務という事もあり、毎日覚えることが一杯で目が回りそうな毎日です。そんな慌ただしい毎日ですが、明るい利用者の皆さんと職員の方々に支えられながら一日一日を乗り切っています。少しでも早く、皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、今後とも宜しくお願いいたします。

元気クラブ

5月23日、京都府亀岡市の七谷川野外活動センターにて、北摂信愛園の元気クラブ（外出行事企画）を実施しました。8名の利用者様が参加されました。飯盒炊爨・カレー作り・豚汁作りを皆さんと行いました。快晴の下、やわらかい風が吹く中、小川の音を聴きながら食べる料理は格別のおいしさでした。普段は作業に日中活動に一生懸命な皆さんでしたが、ゆっくりとリフレッシュされていたように思います。



生活支援員 隈本杜雪



カブトムシを養育するコンテナ



生産班の活動開始！

ご家族の皆さま、お世話になります。平成30年度より生活班のチーフを担当させていただきます中嶋です。今年度もよろしくお願いたします。さて今年度より新たに生活班として畑事業とカブトムシ事業を立ち上げました。皆さんと一緒に農作業と生き物の成長を通して季節を感じていただければと考えています。

生活支援員 中嶋政樹

交代しながら畑に水やりをするのも手慣れてきました



北摂信愛園 平成30年度事業計画

一. 指定障害者支援施設北摂信愛園

① 基本方針

(ア) 利用者の人権尊重の理念に基づき、利用者の有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことが出来るよう支援し、施設が利用者にとって生きがいと潤いのある生活の場になるようにする。

(イ) 障がい者は保護や治療、訓練の対象ではなく、権利の主体者であるという認識のもとに、利用者や御家族の希望を重視し、個々の課題の見直しと、的確な優先課題を設定し、それに応じたサービスを提供する。

(ウ) 障害者総合支援法の精神に基づき、日中活動の場と生活の場を区別し、平日の日中活動をより充実させ、利用者個々に応じた娯楽の提供、身体機能の維持、生活能力の向上のための支援をする。土日・休日・夜間の生活の場では、住環境の改善を図り、利用者が安全に落ち着いた生活を営むことができるように支援する。

(エ) 高齢化する利用者の状況に鑑み、医療・保健機関との連携、食事への配慮、リハビリテーションの実施、老化状態の経年変化の把握等、老化防止に必要な方策の策定と生涯施設とするのか否かを個々の意思と将来を見極め、対応策の検討を行う。

(オ) 地域社会との連帯の絆を強める行事を実施し、また、地域主催の行事への積極的参加と既存行事の見直しに伴い、余暇活動等へのボランティア参加を促進し、地域社会の人々との交流を深め、開かれた施設、共生社会の実現に努める。

② 重点目標

- ・ 二度と虐待や不適切な支援を行わないという決意で、利用者の人権を尊重する支援を行う。
- ・ 虐待防止マネージャーは定期的に会議を行い、不適切支援の状況を把握すると同時に、不適切支援を行わない。より良い支援に向けた啓発活動を行う。
- ・ 支援技術の向上・キャリアアップのための研修の実施及び外部研修の受講を積極的に進める。
- ・ 関係法令や法人の諸規程、社会のルール等を守り、法令遵守を徹底し利用者の権利擁護に努める。
- ・ 第三者委員会の定期的開催を行い、利用者・家族からの苦情や相談機能を高め、客観的立場から法人への助言指導を進める。

(ア) 利用者のニーズや要望を基に御家族の意見を取り入れ、利用者一人ひとりに合わせたサービスを提供する。

・ 個別支援計画に基づいたモニタリングを適切に行い、ケース会議を通じて個別支援計画の見直し・利用者の意思決定支援に取り組み、最も有効な支援を提供する。

・ 個人の興味、関心に焦点を当てた日中活動・余暇活動を提供するために日中活動そのものを常に見直し、利用者が楽しんで活動を行うことができるようにする。そして日中活動を通して情緒の安定を図ることができるよう支援する。

・ 利用者一人ひとり障害の状況が異なり、全員参加で楽しめる行事が少なくなっていることに鑑み、行事を精査し、内容によっては縮小・変更・廃止を行ってきたが、特性に応じたイベントや個別行事、日頃の余暇活動の充実・強化を図る。

また、今年度から新規事業として、農作物の栽培やカブト虫等の飼育活動を行う。これらを通じて利用者の新たに育てる楽しみや可能性を引き出し、潤いのある生活の強化を進める。

(イ) 利用者が安心して安全・快適に生活ができるようになるための支援をする。

・ 事故が起きた時に事故報告書を提出するだけでなく、何かあった時にはヒヤリハットを提出する。また、事故報告書・ヒヤリハットを定期的に点検し、問題点を洗い出し、全職員で情報を共有し、利用者が事故にあわないように未然防止策を実施する。

・ 利用者の障害状況や行動特性を考慮し、設備・備品等の点検を行い、落ち着いて生活ができるように工夫する。常時介護が必要な利用者には、洗面・排せつ・入浴等の支援を行い、快適に生活ができるように支援するとともに、日課を通して基本的な生活習慣が身に付くよう支援する。

ウ) 保健・健康に関する支援

- ・ 日常生活支援の中で、利用者自らの保健意識の向上をめざし、食事前・排泄後の手洗い、手指消毒等を徹底する。
- ・ 毎朝の健康観察、定期的な体重測定や血圧測定を行うことにより、心身の異変の早期発見に努め、必要に応じて専門医の適切な治療を受け、健康な生活が送れるように支援する。
- ・ 嘱託医と密に連絡を取り、利用者の健康状況を報告すると同時に、定期健康診断等を通して疾病の早期発見・早期治療をする。また、定期的なオーラルケアを行うことにより、健康の維持増進を図る。
- ・ 定期的に感染委員会を開催し、インフルエンザやノロウイルス等の感染性胃腸炎が施設に持ち込まれないような予防対策を立てる。また持ち込まれた際の対応を日頃から話し合い、早期鎮静化に向けて準備をしておく。
- ・ なお、平成28年度末に導入したオゾン空気清浄機、オゾン水器を有効に活用し感染症の防止はもとより機器を活用した除菌、消臭や清掃等、快適空間の創出を行う。
- ・ また、痛みなどの訴えや食欲の低下、普段と異なる様子など観察力の向上と、病気等が疑われる場合、継続的な様子観察を行うのではなく、積極的に医療機関の受診を行う。

(エ) 食事等に関する支援

- ・ 給食業務委託会社との連絡調整を十分行いながら、医食同源を念頭に食事の質の向上に努め、健康の維持増進に資するとともに誤嚥や喉詰りを未然に防ぐ対策を講じる。
- ・ 利用者の年齢・健康状態・障害状況等を考慮し、食べやすい食事を提供するのはもちろん落ち着いた食べることができる環境を提供していく。また食器、設備・備品等の買い替えも順次進める。
- ・ また、行事の際の食事提供、食事支援について、嚥下力の低下や喉詰めのリスクが高くなっていることから、行事食の在り方を見直す。

(オ) 御家族との連携

- ・ 御家族参加の行事を通じて、利用者と御家族のつながりを密にすると同時に、事業所と家庭との連携を図り、利用者が家族の一員としての自覚を持ち、情緒が安定するよう適切な支援を行う。
- ・ 面会日に担当支援員との懇談・全体懇談を通じて利用者や事業所の状況を説明し、御家族と密接な連携を図り、利用者の生活の質の向上を目指す。

(カ) 地域社会との連携

- ・ 地域資源の利用や地域行事への参加・ボランティアの導入を推進し、利用者が社会的に孤立しないような取り組みを進めると同時に、利用者自身によるボランティア活動を通じ、自己達成感の醸成や社会に対し開かれた事業所を目指し、絶えず地域社会との交流・連携を意識し、相互理解と共生社会の実現を目指す。

(キ) 会議

毎月または定期会議を行い、事業所の運営をスムーズに行う

- | | | |
|---------|-----------|---------------|
| ・ 全体会議 | ・ 行事委員会 | ・ 苦情処理委員会 |
| ・ 責任者会議 | ・ 給食委員会 | ・ 個人情報管理委員会 |
| ・ 支援会議 | ・ 安心安全委員会 | ・ 第三者委員会 |
| ・ ケース会議 | ・ 感染対策委員会 | ・ 生産班会議（新規事業） |
| ・ 美化委員会 | ・ 虐待防止委員会 | ・ 生活班会議 |
| ・ 研修委員会 | ・ 広報委員会 | ・ 活動班会議 |

二. 相談支援事業所「まーぶる」

(ア) 障害者支援施設北摂信愛園の利用者の一生を見据えたサービス等利用計画を立て、より適切なライフステージに立てるように支援する。

(イ) 地域で生活をする障害者のニーズに合わせたサービス等の利用計画を立て、安定した生活ができるように支援する。また、法人として障がい者が地域で生活できるようにするための支援サービスの展開を検討する。

ボランティアの方々による
ゲルマンハーブの演奏
を聴くことが出来ました！



セルフチェックシート集計結果

北摂信愛園では、虐待防止の取り組みとしてセルフチェックシートを毎月行っています。職員自身が前月の行動を振り返って項目の確認をし、虐待を起こさないという意識を保ち続けています。

平成30年 4月 セルフチェックシート集計

25人提出

- 1、見て見ぬふりをしない
○ 21人 、△ 4人 、× 0人
- 2、利用者の意思を無視して
支援者のしたい支援をしない
○ 16人 、△ 8人 、× 1人
- 3、利用者が理解できない言葉で話さない
○ 16人 、△ 9人 、× 0人
- 4、さん付けで呼ぶ
○ 22人 、△ 3人 、× 0人
- 5、職場に対するストレスを支援に持ち込まない
○ 23人 、△ 2人 、× 0人
- 6、月間目標
○ 19人 、△ 5人 、× 1人



平成30年 5月 セルフチェックシート集計

28人提出

- 1、見て見ぬふりをしない
○ 25人 、△ 3人 、× 0人
- 2、利用者の意思を無視して
支援者のしたい支援をしない
○ 15人 、△ 13人 、× 0人
- 3、利用者が理解できない言葉で話さない
○ 20人 、△ 8人 、× 0人
- 4、さん付けで呼ぶ
○ 26人 、△ 2人 、× 0人
- 5、職場に対するストレスを支援に持ち込まない
○ 24人 、△ 4人 、× 0人
- 6、月間目標
○ 22人 、△ 6人 、× 0人



誕生者の外出



寄付紹介



昨年度は、旧館撤去並びに本館エアコン修理に際して、たくさんの御寄付ありがとうございました。改めて御礼申し上げます。しかし、本館建設から15年経ち、各所様々ところで老朽化が目立ってまいりました。日中活動棟に関しましても、一部雨漏りを起こしている状態です。随時応急処置の補修は行っておりますが、改修となりますと規模が大きい為大きな費用がかかります。今後も継続的なご支援を、どうかよろしく願いいたします。

寄付金

| | | |
|-------|-----------|---|
| 匿名 | 2,000,000 | 円 |
| 寺澤洋子様 | 500,000 | 円 |
| 片瀬賢二様 | 金一封 | |
| 長濱好良様 | 金一封 | |

物品寄贈

井手和明様

誠にありがとうございます。
頂いた品物は大切にに使わせて頂きます。

ボランティア募集中

北摂信愛園では、余暇時間の充実に向けてボランティアの方を募集しております。

例えば、利用者の方と一緒に会話や遊びをしていただける方やコーラス、音楽の演奏、マジック、紙芝居などを披露していただける方を募集しております。

他にも入浴時に髪を乾かすお手伝いのような生活支援に関わることや、散歩に参加するなど上記以外のボランティアも「こんなことが出来るよ」とぜひご相談ください。

お問い合わせは下記連絡先まで。

お問い合わせ
指定障害者支援施設 北摂信愛園
〒563-0217 大阪府豊能郡豊能町川尻72-5
TEL:072-739-0456 FAX:072-739-0457

余暇支援担当 今川 まで



保護者の皆様

北摂信愛園では、利用している皆様に対して、適切な支援を行なうよう、スタッフ一同、十分に留意しながら、日々の業務に努めております。もし、北摂信愛園の支援について、虐待の疑いなど何か気になることがありましたら、施設職員または下記までご連絡ください。

北摂信愛園第三者委員

荒木啓元（あらか ひろもと）さん 電話 070-5668-6115

メールアドレス dai3-araki@will.com.com

相談・苦情受付 対応時間：月～金（祝日は除く）9：00～17：00

中 繁樹（なか しげき）さん 電話 072-738-6437

橋本謙司（はしもと けんじ）さん 電話・Fax 072-739-2899

メールアドレス hashimoto-kenji@loto.eonet.ne.jp

山下堅司（やました かたし）さん

大阪府福祉部障がい福祉室生活基盤推進課 電話 06-6944-2295

福祉サービス苦情解決委員会（大阪府社会福祉協議会運営適正化委員会）

編集後記

北摂信愛園ではカブトムシ事業や農作物の栽培など、新しいことへのチャレンジがスタートしました。まだ始まったばかりですが、職員、利用者とも一丸となって1つでも多くの笑顔がみられるように、頑張っていきたいと思っております。